


## ライセンス第1委員会

### 1. 国内外の産官学連携に関する調査研究

共同研究・開発研究に関する調査研究(中長期テーマ2年目:最終年)

#### 共同研究・開発契約の“バイブル”を作成!

- ◆ 条文毎に考え方や留意点を解説
  - 企業間、産学等の各種形態・立場(川上・川下)を考慮
  - 条文例も豊富
- ◆ 契約初心者向け!
  - 新任知財担当、開発担当者にもわかりやすい!
  - 契約にあたっての心構え、検討ポイントも解説

成果発表

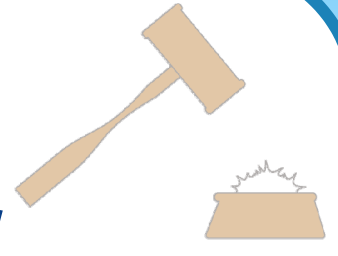
資料集「(仮)共同研究開発契約実務者マニュアル」

## ライセンス第1委員会

### 2. ライセンスに関わる判例の調査研究(海外判例)

(中長期テーマ3年目:最終年)

#### 米国判例集の作成

- ◆ 「ライセンス契約に関する判例集(国内)」  
(JIPA資料集424号/2013年発行)の米国版!
  - ライセンス契約の条項毎に関連する米国判例を紹介
  - 各判例をA4見開き2ページで紹介
  - 各判例に基づくライセンス契約上の注意点つき

成果発表

資料集「(仮)ライセンス契約に関する判例集(米国)」

# ライセンス第1

## 活動図



## 活動方針

ライセンス契約等技術契約を取り巻く、国内外の実務上の課題に対する検討、要求度の高い情報の収集と整理、さらにこれらに基づく報告、提言を行うことにより、会員企業の契約実務に貢献する。

## ライセンス第1委員会

### 3. 標準必須特許のライセンスに関する調査研究・ソフトウェアのライセンスに関する調査研究

#### 標準必須特許による差止の制限の各国比較

#### ◆FRAND宣言された標準必須特許(SEP)に基づく差止が認められない場合とは?

- 各国の裁判例や、競争当局の判断を分析
- 各事件における当事者の交渉経緯と判決内容から、SEPの差し止めに関する判断要素や基準を考察
- FRAND宣言とは? Willing Licenseeとは? 誠実交渉義務とは?

#### ソフトウェアライセンスの諸問題

- クラウド市場における契約
- ソフトウェアライセンスと源泉徴収
- 倒産法とライセンシーの保護(エスクローも含めて)
- ソフトウェアライセンスとNAP条項
- 等の問題点について検討。



## 成果発表

論説 「(仮)標準必須特許による差止の制限の各国比較」

# 第2委員会

## 年間活動(2015年度)

- ◆ 小委員会:原則として月一回、小委員会ごとに実施
- ◆ 合同委員会
  - 4月:年間の活動キックオフ!
  - 7月:弁理士・税理士岩品氏ご講演
  - 10月:宿泊合宿:臨時編成グループによるディスカッション
  - 3月:委員会内成果発表
- ◆ その他
  - 2月:日本知的財産仲裁センターとの意見交換会(予定)
  - 3月:特許庁ライセンス研修(予定)



## 来年度テーマ(予定)

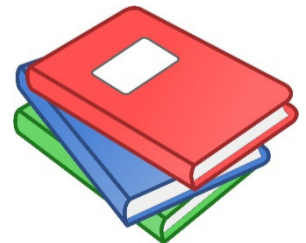
- ◆ 単年度 : 中国技術契約、業界別ライセンスフレームワーク、対価算定に関する判例アライアンスにおける知財活用スキーム、特許・商標等の権利譲渡
- ◆ 中長期 : 英文秘密保持契約、知財紛争と各国裁判制度、技術契約交渉

## ライセンス第2委員会

### 3. 英文ライセンス契約に関する調査研究

## 実務に役立つ! 英文ライセンス契約マニュアル

- ◆ 契約書ドラフトのための留意点
  - 英米法体系、米国法、米国契約法、独禁法について
  - 英文契約の表現と注意事項について
- ◆ モデル契約書
  - 特許ライセンス契約、技術ライセンス契約について
  - 条文例、留意点、判例等



## 成果発表

論説「ライセンス契約の改良技術条項・不爭条項規制(日米欧比較)」  
資料集「英文ライセンス契約マニュアル」

# ライセンス第2委員会

## 1. 中国との技術契約に関する調査研究

### 中国での技術ライセンス契約管理の諸問題

- ◆ 中国での技術ライセンス管理における課題  
(ロイヤリティ回収、技術保護、契約登記、送金、税等)
- ◆ 対策①: 中国ライセンサーに対する監査
  - ライセンサー監査とは(目的、チーム編成、手順等)
  - 中国特有の監査の留意点、適切な契約監査条項等
- ◆ 対策②: 契約登記・送金の法令運用、移転価格税制の把握



#### 成果発表

#### 論説

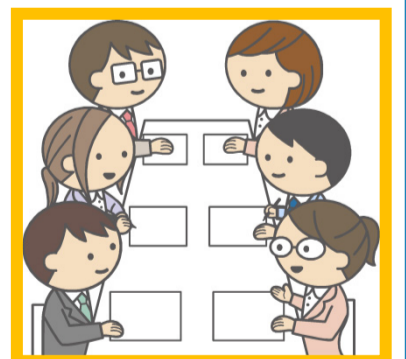
「(仮)中国企業との技術ライセンス契約の管理に関する諸問題」

# ライセンス第2委員会

## 2. 技術契約交渉に関する調査研究

### 契約交渉に関する実務上の諸問題

- ◆ 人材育成 (→ 長い年月をかけたOJTしかないのか?)
- ◆ 技術契約交渉の困難さ
  - 交渉相手とWin-Winな状況になりづらい
  - 自社の事業部門間ですら利害が対立してしまう場合がある



各業界の知財渉外担当者が、実務視点での対策を提案

#### 成果発表

#### 論説 「(仮)続・実践交渉学

～技術契約交渉におけるミッションのあい方～」